

岐阜県 商店街だより



第382号 2016.6.20 6月号



発行元

岐阜県商店街振興組合連合会

岐阜市藪田南5-14-53

TEL058-277-1107

岐阜県商店街振興組合連合会 第48回通常総会開催

平成28年5月26日(木)午後1時30分より、ふれあい福寿会館14階「展望レセプションルーム」(岐阜市藪田南5-14-53)に於いて、岐阜県商店街振興組合連合会第48回通常総会を開催いたしました。

日比野理事長を議長に、平成27年度の事業報告では、当連合会事業として、空き店舗への出店を促すため、起業を目指す方に先輩起業家の体験談等を伝えるセミナーを初めて開催し、大変好評でありました。また、国からの交付金により実施された、プレミアム付き商品券発行事業が、当連合会加盟の全都市に於いて実施され、時計・貴金属店や飲食店での利用が多くあり、ある程度の効果が見られました。全国的に商店街の事業として人気のある「まちゼミ」が、昨年に引き続き各都市で開催され、お客様にも大変好評で、参加店も手応えを感じていること等を報告しました。



▲通常総会の様子

平成28年度事業では、情報収集ツールがパソコンやスマートフォンになっている現状を踏まえ、当連合会のホームページのリニューアルを行うことや、例年通り講習会・研修会・交流会などを行っていくことを報告しました。

ご来賓では、岐阜県商工労働部長 河合孝憲様、中部経済産業局流通・サービス産業課長 亀井敏之様、当連合会顧問弁護士 川島和男様の3名様からご祝辞をいただきました。



▲表彰式の様子(左：小倉氏 右：玉木氏)

続いて、商店街功労者に贈られる「岐阜県知事賞」の表彰式が行われ、大垣市商店街振興組合連合会理事長 小倉利之様、多治見ながせ商店街振興組合理事長 玉木秀典様、恵那中央通り商店街振興組合副理事長 成瀬雅裕様の3名が受賞されました。おめでとうございます。

中津川

5/1(日)

みんなで創る景観まちづくりの軌跡 本町商店街 街なみ環境整備完成記念行事

■主催：本町商店街振興組合・中山道こまちの会・本町中山道景観協議会

ゴールデンウィーク真っ只中の5月1日(日)に、中津川市で春の中山道六斎市まつりが開催されました。中津川の六斎市は、第1日曜日に毎月開催されていて(1月は除く、年11回)、今回で第90回目です。なかでも行楽シーズンの5月と11月の年2回は特別な催しとなっています。当日は好天に恵まれ、午前9時から午後3時30分まで人通りの絶えない中、中山道の中津川から四ツ目川の間の本町商店街では、本町中山道街なみ環境整備完成記念式典が行われました。



▲景観が完成した商店と道路

記念式典は、13時から本町広場で協力者のスピーチと餅投げが行われました。スピーチは景観構想開始から8年間の苦労話や完成の喜び、今後の商店街の発展に向けての店づくりでした。名工大元教授の松本氏のスピーチでは、「2006年11月策定委員会立ち上げ当時からいい町でした。8年経ってまだ課題は有り、空き家や高齢化などがあります。若い人が出て来て欲しいし、住んでいる人達がより仲良くして欲しいです。記念式典会場の本町広場は学生が設計しました。人が集まるようにどんどん宣伝して欲しいです。」と話されました。

本町商店街振興組合の大鋸理事長のスピーチでは、「松本先生と共に進めてきた全ての工事が終わりました。子供の頃にたくさんあった商店は、民家や空き家になってしまいましたが、あったかい、また来たい町・店を作っていきたいです。六斎市は盛り上がっていますが、日頃も可愛がって欲しいです。」と話していました。

行政関係者のスピーチでは、「100年かけて全国に発信していきたい。」など、集客へのバックアップを宣言していました。観光バスがたくさん来る日が近いのではと感じました。

ご当地ゆるキャラは、地元のにゃかつがわ君・くりニアくんのほか、パンダ犬と木曾っ子の4体が参加しイベントを盛り上げていました。

力強いスピーチの後、待ちに待った餅投げが行われ、大いに賑わいました。



▲賑わった餅投げ

記念式典の閉会式は、女将さんによる中山道こまちの会・矢野順子会長のスピーチでした。「工事期間に集客が落ち、お店がもつかわ不安でした。21年続けてきた花飾りなどで誇れる街並みにしていきたいです。」と話さ

れました。

本町商店街振興組合の大鋸理事長にお話しを伺うと、「店舗が閉店して民家になったところの店舗部分を借りて、店をやりたい人に提供したい。店を多くし、実力店に残ってもらえる様にしていきたい。」と話されました。こまちの会の矢野会長にも景観まちづくりと近況を訪ねたところ、「工事が長く、お客さんにたくさん叱られ、もう少しお待ちください、綺麗ないい町になりますから、とお詫びをしていました。他地域の成功事例も勉強しています。手作りの街づくりが参考になり



▲ 21年間続けている花飾り

ます。花飾りなど、自分たちが元気に街に合った努力をしていきたいです。」と話されました。

本町商店街では、本町広場、中山道歴史資料館前、はざま酒造前の3ステージで10時から15時まで6団体の太鼓を中心とした楽器演奏と獅子舞などの踊りが賑やかに行われました。ステージイベントは和装和風が中心ですが、第一中学吹奏楽クラブや中津商業バトントワリング、エレクトーンライブも行われ、外国人観光客や老若男女みな訪れた人が楽しめる多彩なイベントが催され、各商店の店頭ワゴンセールや、イベント出店のファーストフードやフリーマーケットが元気にセールスに励んでいました。そのなかで目立っていたのは、四ツ目川からの商店街入口の白河屋で、昔懐かしい駄菓子に子供たちが群がり大繁盛でした。

【参考となるポイント】

- 宿場風情を演出する椅子や和装や花
- みんなで長年努力して作った景観
- 感動が飛び交う餅投げ

恵那

5/21(土)

学生ボランティアが大活躍 恵那まちなか市

■主催：恵那まちなか市実行委員会

5月21日(土)に五月晴れの清々しい気候の中、「恵那まちなか市」が開催されました。平成22年から年4回開催されており、今回で22回目となりました。

商店街にある大井宿広場では、ミニ四駆の大会が開催されていました。大井宿広場の商店街側の出口では引き語り中心のパフォーマンスステージが熱血開催され、すぐ近くの西銀座通り入口では中学生ボランティアによるスタンプラリーと五平餅作り体験が開催されていました。他のスタンプラリーポイントと手作り体験コーナーもほとんどが中

学生ボランティアで明るく運営されていて、



▲ボランティアのスタンプラリーポイント



▲ハンドクリーム・キャンドル作り体験

手作りコーナーでは親切な作成手順指導に加えて「上手ですね。」とリップサービスがあり、手作りプラスαの楽しさが商店街中に感じられる素晴らしいイベントになっていました。

今回の手作り新企画は、恵那農業高等学校ミツバチ研究班による、ミツロウキャンドル・ミツバチハンドクリーム作り体験でした。子供たちは手作り体験を楽しんだ後に「ミツバチを好きになりましたか？」など6項目のアンケートを回答していました。参加スタッフの高校生に感想を聞いたところ、「子供がたくさん来てくれて、ミツバチに興味を持ってくれて良かったです。」と喜んでいました。先生にお話を伺うと、「大学と連携して花粉DNA研究などを行っています。今まで受粉に役立つ日本ミツバチを研究していましたが、今後はハチミツが取れる西洋ミツバチも研究していきます。」と話されました。恵那に美味しい特産品が増えるかもしれません。

商店街の中では、商店街の商店が特別ワゴンセールを展開しているだけでなく、軽トラ市やフリーマーケットなどもオープンし、更に、年間4回の「恵那まちなか市」を通じて利用できる「てくてくカード」でのスタンプラリーの開催もありました。商店街の西の入口では、お楽しみゲーム大会駄菓子屋が開催され、ボランティア中学生に松葉の引っ張り合いゲームで勝つと駄菓子がもらえるサービ

スによって、参加商店街の端から端までが多くのお客様で賑わっていました。

銀座2丁目の駐車場では、東北支援の東北海産物販売や、和菓子作り体験、餅投げが行われました。東北海産物販売では、恵那市商店街連合会の大塚会長自らが元気いっばいに販売していました。大塚会長にお話を伺うと、「アンケートでまちなか市が楽しみという回答が増えてきました。ボランティアは募集するとすぐに定員50人以上集まって頂けます。商店街の若いメンバーからいい企画が出るようになっていて、他のイベントも絡めてイベント回数を増やしていきたいです。去年はLED化をしましたので、今年は防犯カメラを設置中です。来年は流行りのまちゼミをやりたいので今年度は研究します。」と意欲溢れる言葉が聞かれました。

中心市街地活性化事業の一環として誘致された美術館である中山道広重美術館では、春季特別企画展の古今東西美女競(みめくらべ)が開催されて、版画だけでなく洋画も多数楽しめる展示になっていました。ここでも名画をカラー版画で手作り体験できるコーナーがあり、恵那の商店街らしさを地元の人も外国人観光客も楽しんでいました。



▲カラー版画の手作り体験

【参考となるポイント】

- 手作り体験・体感の楽しさプラスα
- スタンプラリーポイントでミニゲーム
- もりだくさんの企画で笑顔が溢れる

大垣

6/5(日)

オトナの雰囲気が漂う 元気ハツラツ市 ワイン&グルメストリート in 大垣

■主催：大垣市商店街振興組合連合会

6月5日(日)、大垣駅前通りで元気ハツラツ市が開催されました。今年度の元気ハツラツ市では、①イベントのマンネリ化の防止、②加盟商店街の参加意欲の向上を目的に、各月のイベントを加盟商店街が持ち回りで企画しています。今月は駅前商店街が「ワイン&グルメストリート in 大垣」を企画しました。

ワイン&グルメストリート in 大垣では、各出店ブースがワインやワインに合うグルメなどを提供しました。参加料(専用グラス代)300円、ワイン1杯200円〜と利用しやすい料金設定だったこと、各ブースが赤・白・スパークリングのさまざまなワインを取り揃えていたことから、午前10時の開始早々から参加受付には行列ができていました。特に30代・40代の女性がワイングラス片手にブースを巡る姿が目立ちました。



▲行列ができ大繁盛のムトウさかや

グルメブースでは、スペアリブやそば粉のガレットが人気でした。スペアリブのブースは煙と香りを周囲に拡散させることで来場者の食欲を刺激し、ガレットのブースは来客

の目の前で焼くことで商品が出来る過程を見せるなどの工夫を凝らしていました。

ワイン&グルメストリート in 大垣の中心を務めてい



▲美味しそうなそば粉のガレットしたのは、1日限り特別グルメチーム元祖本家(もとや)のブースです。大きなボトルの店外サインを立ててワインをアピールする一方、他の何倍もの広さのブースで飲み物・食べ物を提供していました。グループ4店舗のスタッフがインカムで連絡を取り合う様子は、さながら歩行者天国に現れた居酒屋のようです。本企画を発案したのは、駅前商店街のムトウさかや店主の上野さんです。上野さんはイベントの中心にワインを据えた理由について、「自分自身がソムリエの資格を持っていること、ワインならば他の飲食店が出店



▲おつまみが好調の元祖本家

しやすいと考えたからです」と話していました。

この他に、ぎふチャンラジオの公開生放送がありました。アイドルグループのなごやちゅ〜ぶ・callme(コールミー)の2組と、演歌歌手の田川寿美さんが美声を披露しました。田川さん見たさに観客がステージを何十重にも取り囲み、ステージ周辺の通行が一時困難になるほどでした。アイドルグループのコンサートでは、熱心な男性ファンによる合の手が入り、客席が大いに盛り上がっていました。

生放送の冒頭では小川大垣市長が出演し、「車社会によって衰退した、商店街をはじめとする街中を元気にしたい。街中に住んでもらえるように、駅前再開発を現在進めています。」との発言がありました。

当日の来場者は3万5000人、ワイン&グルメストリートin大垣の参加者は400人に上りました。

元気ハツラツ市終了後、松本実行委員長にお話を伺ったところ、「今日のイベントで、来場者が見たり体験したりするシステムが売り上げ増加に有効であることが分かりました。『イベントでは人が来ても売り上げは伸びない。』という意見がありますが、売り上げを伸ばす工夫が足りないのです。大規模小売店ではモノを買うことができても、モノが出来る過程は見えません。商店街の商店ならば過程を見せることができますし、体験してもらうこともできます。9月の元気ハツラツ市は、別の商店街が体験型のイベントを企画しています。」と話してまいりました。

なお、ワイン&グルメストリートin大垣の参加料は、平成28年熊本地震復興に寄付されます。

【参考になるポイント】

- イベントへの主体的な参加
- 自社の得意分野の活用
- モノよりコトの販売

平成27年度補正予算 商店街・まちなかインバウンド促進支援事業 高山本町三丁目商店街振興組合の事業を採択

商店街インバウンド促進支援事業事務局は、平成27年度補正予算「商店街・まちなかインバウンド促進支援事業」について、外部審査会での審査を踏まえ、43件の事業を採択しました。中部経済産業局管内では、4件(堅町商店街振興組合・株式会社SLACKTIDE、香林坊商店街振興組合・株式会社大和、高山本町三丁目商店街振興組合・株式会社まちづくり飛騨高山、円頓寺商店街振興組合・株式会社ツーリズムデザイナーズ)が採択されました。

商店街・まちなかインバウンド促進支援事業とは、商店街等を基盤として、地域経済の持続的発展を図るため、地域住民等のニーズや当該商店街を取り巻く外部環境の変化

を踏まえ、地方公共団体と密接な連携を図り、商店街組織が単独で、又は商店街組織がまちづくり会社等の民間企業や特定非営利活動法人等と連携して行う、以下の6つの分野に係る公共性の高い取組を支援する事業です。

【支援対象となる6つの分野】

- ① 少子・高齢化
- ② 地域交流
- ③ 新陳代謝
- ④ 構造改革
- ⑤ 外国人対応
- ⑥ 地域資源活用

高山本町三丁目商店街振興組合・株式会社まちづくり飛騨高山は、外国人対応おもてなし拠点施設を核とした本町三丁目商店街活性化事業を実施する予定です。

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。